2011年3月期第2四半期決算 主要建設会社決算分析

2010年12月10日

財団法人 建設経済研究所

目次

- 1. 調査の目的
- 2. 分析対象会社
- 3. 報告要旨
- 4. 主要分析結果
 - ①受注高
 - ②売上高
 - ③売上総利益
 - ④販売費及び一般管理費
 - ⑤営業利益
 - ⑥経常利益
 - ⑦特別利益•特別損失
 - ⑧当期純利益
 - ⑨有利子負債
 - ⑩自己資本比率・デットエクィティレシオ
 - (1)キャッシュフロー

1. 調査の目的

財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別・経年的に比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信から判明する2010年度の財務指標の分析を提示するものです。なお、分析対象会社の一部は12月期決算を採用しています。

資料の提供を頂いた各社には、この場を借りて厚く御礼申し上げる次第です。

(お問合せ先) 財団法人 建設経済研究所 研究理事 山口 悦弘

研究員 小室 隆史

岡田 康男

江村 隆祐

電話:03-3433-5242 FAX:03-3433-5239

2. 今回の分析対象会社

(1)対象会社の抽出

全国的に業務展開を行っている総合建設業者を念頭に、以下の要件に該当し、過去直近3年間の連結売上高平均が上位の40社を抽出した。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること
- ② 会社更生法、民事再生法などの倒産関連法規の適用を受けていないこと
- ③ 非上場等により決算関係の開示情報が限定されていないこと

(2) 階層分類

売上高規模別に、以下の3つに階層に分類した。

階層	連結売上基準(3年間平均)	分析対象会社	社数
大手	1兆円超	鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組、竹中工務店	5社
準大手	2000億円超	長谷エコーポレーション、戸田建設、西松建設、三井住友建設、 前田建設工業、五洋建設、フジタ、熊谷組、東急建設、奥村組、 安藤建設、間組、東亜建設工業	13社
中堅	2000億円未満	錢高組、淺沼組、福田組、鉄建建設、東洋建設、大豊建設、飛島建設、 青木あすなろ建設、ピーエス三菱、ナカノフドー建設、東鉄工業、 大本組、矢作建設工業、若築建設、松井建設、大和小田急建設、 名工建設、不動テトラ、北野建設、大末建設、徳倉建設、植木組	22社

3. 報告要旨

- □ 受注高(単体)は、2008年からの世界同時不況の影響で2009年度第2四半期 累計は大幅に落ち込んだ。依然として、厳しい受注環境は続いており、2010年度 第2四半期累計は、対前年同期比▲3.6%と更なる減少となった(建築:▲1.1% 土木:▲13.9%)。
- □ 2010年度第2四半期累計の売上高は、2009年度の受注高減少による年度繰越工事の減少の影響も大きく、対前年同期比▲13.6%と減少した。
- □ 売上総利益は、各社の採算性を重視した選別受注と工事採算の改善努力、およ び資材価格下落の影響もあり、利益額・利益率とも改善した。
- □ 増収増益企業6社、増収減益企業1社、減収増益企業18社、減収減益企業15社 となっており、収益面での改善が見られる。 ※収益増減は、営業利益段階
- □ 円高の進行に伴う為替差損が多くの企業で計上され、経常利益へかなりの影響を与えた(総計で約116億円)。
- □ 各業績指標を総合的に勘案すると、引き続き、厳しい経営環境にあると思われる。

4. 主要分析結果

①受注高(単体:受注高合計)

単位:百万円

受注高/対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
06年度2Q累計	3,258,036	(対前年同期比)	1,840,308	(対前年同期比)	1,016,513	(対前年同期比)	6,114,857	(対前年同期比)
07年度2Q累計	3,254,727	-0.1%	1,701,165	-7.6%	1,033,466	1.7%	5,989,358	-2.1%
08年度2Q累計	3,388,536	4.1%	1,599,711	-6.0%	867,007	-16.1%	5,855,254	-2.2%
09年度2Q累計	2,057,036	-39.3%	1,329,803	-16.9%	714,673	-17.6%	4,101,512	-30.0%
10年度2Q累計	2,062,912	0.3%	1,196,989	-10.0%	693,909	-2.9%	3,953,810	-3.6%

- □ 受注高(単体)は、2008年からの世界同時不況の影響で2009年度第2四半期 累計は大幅に落ち込んだ。依然として、厳しい受注環境は続いており、2010年 度第2四半期累計は、対前年同期比▲3.6%と更なる減少となった。
- □ 建築▲1.1%・土木▲13.9%と、特に土木において大幅な落ち込みとなった。
- □ 「準大手」・「中堅」では対前年同期比で減少したが、「大手」は同水準を確保した(+0.3%)。

受注高(単体:建築)

単位:百万円

受注高/対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
06年度2Q累計	2,510,463	(対前年同期比)	1,358,008	(対前年同期比)	695,324	(対前年同期比)	4,563,795	(対前年同期比)
07年度2Q累計	2,745,039	9.3%	1,197,586	-11.8%	692,546	-0.4%	4,635,171	1.6%
08年度2Q累計	2,606,487	-5.0%	1,165,412	-2.7%	547,821	-20.9%	4,319,720	-6.8%
09年度2Q累計	1,685,950	-35.3%	895,453	-23.2%	417,696	-23.8%	2,999,099	-30.6%
10年度2Q累計	1,686,336	0.0%	845,813	-5.5%	434,822	4.1%	2,966,971	-1.1%

- □ 建築の受注高の総計は、対前年同期比▲1.1%の減少となった。
- □ 「中堅」は対前年同期比4.1%増となったが、2009年度の大幅減少を勘案すれば、回復傾向にあるとは言い難い。「準大手」は▲5.5%の減少となった。全体的に見れば、厳しい受注環境は続いている。
- □ 民間企業には延期していた設備投資の再開の動きもうかがえるが、民間非住宅建設投資の増加にまでは至っていない。さらには、円高の進行などの懸念材料もあり、各社の通期受注目標の達成は厳しさが増していると考えられる。

受注高(単体:土木)

単位:百万円

受注高/対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
06年度2Q累計	654,055	(対前年同期比)	456,505	(対前年同期比)	317,336	(対前年同期比)	1,427,896	(対前年同期比)
07年度2Q累計	421,837	-35.5%	478,470	4.8%	333,025	4.9%	1,233,332	-13.6%
08年度2Q累計	627,191	48.7%	414,747	-13.3%	301,382	-9.5%	1,343,320	8.9%
09年度2Q累計	333,297	-46.9%	421,268	1.6%	289,065	-4.1%	1,043,630	-22.3%
10年度2Q累計	309,777	-7.1%	335,392	-20.4%	253,685	-12.2%	898,854	-13.9%

- □ 土木の受注高は、全階層で減少となり、総計で対前年同期比▲13.9%と大きく減少した。
- □ 特に「準大手」は、対前年同期比▲20.4%と大幅な減少となった。
- □ 2010年10月に当研究所が発表した2010年度の建設投資見通しでは、政府 土木投資は対前年度比▲18.7%と予想しており、今後も厳しい環境が続くとみ られる。なお、2010年度補正予算の工事発注時期を注視する必要がある。

②売上高(連結)

単位:百万円

売上高/対前年同期比

	大手		準大手		中堅		総計	
06年度2Q累計	3,493,660	(対前年同期比)	1,972,776	(対前年同期比)	977,437	(対前年同期比)	6,443,873	(対前年同期比)
07年度2Q累計	3,445,290	-1.4%	2,049,932	3.9%	1,014,116	3.8%	6,509,338	1.0%
08年度2Q累計	3,910,790	13.5%	1,873,904	-8.6%	920,856	-9.2%	6,705,550	3.0%
09年度2Q累計	3,494,906	-10.6%	1,639,858	-12.5%	948,141	3.0%	6,082,905	-9.3%
10年度2Q累計	2,831,632	-19.0%	1,575,244	-3.9%	847,537	-10.6%	5,254,413	-13.6%
10年度通期予想	5.250.000	_	3.626.000	_	1.921.230	_	10.797.230	_

- □ 売上高は、2009年度の受注高減少による、年度繰越工事減少の影響も大きく、 対前年同期比▲13.6%と減少した。
- □ 「準大手」の減少幅は▲3.9%と小さいものの、「大手」は▲19.0%、「中堅」は ▲10.6%と大幅に減少した。
- □ 2010年度第2四半期累計の受注高も対前年同期比で減少していることから、 売上高の確保についても、当面厳しい状況にあると考えられる。

③売上総利益(連結)

単位:百万円

売上総利益/売上総利益率

	大手		準プ	準大手		中堅		計
	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率	売上総利益	売上総利益率
06年度2Q累計	277,811	8.0%	146,139	7.4%	68,639	7.0%	492,589	7.6%
07年度2Q累計	247,200	7.2%	140,882	6.9%	61,863	6.1%	449,945	6.9%
08年度2Q累計	219,062	5.6%	125,877	6.7%	67,347	7.3%	412,286	6.1%
09年度2Q累計	234,586	6.7%	125,661	7.7%	73,447	7.7%	433,694	7.1%
10年度2Q累計	257,314	9.1%	136,922	8.7%	74,621	8.8%	468,857	8.9%

	大手	準大手	中堅	総計
06年度2Q累計	-1.4%	-0.8%	-16.0%	-3.5%
07年度2Q累計	-11.0%	-3.6%	-9.9%	-8.7%
08年度2Q累計	-11.4%	-10.7%	8.9%	-8.4%
09年度2Q累計	7.1%	-0.2%	9.1%	5.2%
10年度2Q累計	9.7%	9.0%	1.6%	8.1%

- □ 売上総利益は、各社の採算性を重視した選別受注と工事採算の改善努力、および資材価格下落の影響もあり、利益額、利益率とも大きく改善した。
- □ 売上総利益率については総計で1.8%ポイント上昇した(「大手」は2.4%ポイント上昇、「準大手」は1.0%ポイント上昇、「中堅」は1.1%ポイント上昇)。
- □ 一部大型工事における、追加変更工事獲得による工事利益改善の影響も寄与 したと考えられる。

④販売費及び一般管理費(連結)

単位:百万円

販管費/販管費率

	大手		準力	準大手		中堅		計
	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率
06年度2Q累計	204,384	5.9%	119,649	6.1%	76,865	7.9%	400,898	6.2%
07年度2Q累計	199,079	5.8%	118,942	5.8%	76,673	7.6%	394,694	6.1%
08年度2Q累計	204,888	5.2%	119,585	6.4%	75,035	8.1%	399,508	6.0%
09年度2Q累計	191,760	5.5%	112,950	6.9%	63,714	6.7%	368,425	6.1%
10年度2Q累計	182,544	6.4%	103,784	6.6%	60,075	7.1%	346,403	6.6%

	大手	準大手	中堅	総計
06年度2Q累計	-1.3%	-4.5%	2.3%	-1.7%
07年度2Q累計	-2.6%	-0.6%	-0.2%	-1.5%
08年度2Q累計	2.9%	0.5%	-2.1%	1.2%
09年度2Q累計	-6.4%	-5.5%	-15.1%	-7.8%
10年度2Q累計	-4.8%	-8.1%	-5.7%	-6.0%

- □ 販管費は、総計で対前年同期比約220億円減少した(うち「大手」は約92億円減少、「準大手」は約92億円減少、「中堅」は約36億円減少)。
- □ 2009年度に実施したリストラ等によるコスト削減が大きく寄与したものと考えられる。
- □ 販管費率は、販管費が削減されたものの、それを上回る売上高の減少により、 総計で0.5%ポイント増加した。

⑤営業利益(連結)

単位:百万円

営業利益/営業利益率

	大手		準プ	準大手		中堅		総計	
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
06年度2Q累計	73,427	2.1%	26,490	1.3%	▲ 8,226	-0.8%	91,691	1.4%	
07年度2Q累計	48,121	1.4%	21,940	1.1%	1 4,810	-1.5%	55,251	0.8%	
08年度2Q累計	14,174	0.4%	6,292	0.3%	▲ 7,688	-0.8%	12,778	0.2%	
09年度2Q累計	42,824	1.2%	12,711	0.8%	9,733	1.0%	65,268	1.1%	
10年度2Q累計	74,766	2.6%	33,132	2.1%	14,545	1.7%	122,443	2.3%	

	大手	準大手	中堅	総計
06年度2Q累計	-1.4%	20.2%	-226.2%	-11.0%
07年度2Q累計	-34.5%	-17.2%	-	-39.7%
08年度2Q累計	-70.5%	-71.3%	-	-76.9%
09年度2Q累計	202.1%	102.0%	黒字転換	410.8%
10年度2Q累計	74.6%	160.7%	49.4%	87.6%

- □ 営業利益は、売上総利益の改善と販管費の削減により大きく回復した。
- □ 営業総利益率については総計で1.2%ポイント上昇した(「大手」は1.4%ポイント上昇、「準大手」は1.3%ポイント上昇、「中堅」は0.7%ポイント上昇)。

⑥経常利益(連結)

単位:百万円

経常利益/経常利益率

		_	** 1 -		1 000		60 = I	
	大手		準プ	準大手		中堅		計
	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率	経常利益	経常利益率
06年度2Q累計	80,731	2.3%	22,939	1.2%	▲ 9,187	-0.9%	94,483	1.5%
07年度2Q累計	62,923	1.8%	18,426	0.9%	▲ 15,013	-1.5%	66,336	1.0%
08年度2Q累計	17,376	0.4%	661	0.0%	▲ 9,401	-1.0%	8,636	0.1%
09年度2Q累計	46,192	1.3%	7,871	0.5%	8,031	0.8%	62,094	1.0%
10年度2Q累計	69,388	2.5%	26,087	1.7%	13,716	1.6%	109,191	2.1%

	大手	準大手	中堅	総計
06年度2Q累計	0.7%	118.6%	-272.9%	-1.5%
07年度2Q累計	-22.1%	-19.7%	-	-29.8%
08年度2Q累計	-72.4%	-96.4%	-	-87.0%
09年度2Q累計	165.8%	1090.8%	黒字転換	619.0%
10年度2Q累計	50.2%	231.4%	70.8%	75.8%

- □ 経常利益は、全階層で大きく回復した。
- □ 円高進行に伴う為替差損が多くの企業で計上され、経常利益へかなりの影響を 与えている(総計で約116億円の計上)。
- □ 引き続き、為替変動による収益への影響には注視する必要がある。

⑦特別利益•特別損失の内訳(連結)

単位:百万円

		大	手	準プ	7手	中	堅	総	計
		10年度2Q累計	09年度2Q累計	10年度2Q累計	09年度2Q累計	10年度2Q累計	09年度2Q累計	10年度2Q累計	09年度2Q累計
特	別利益	4,774	12,419	10,001	11,562	2,996	4,204	17,771	28,185
主	前期損益修正益	1,789	1,018	1,134	2,068	528	482	3,451	3,568
	投資有価証券売却益	433	8,642	307	3,652	248	354	988	12,648
内訳	固定資産売却益	249	899	2,667	248	623	980	3,539	2,127
八	貸倒引当金戻入	631	474	2,903	4,032	956	1,495	4,490	6,001
特	別損失	15,455	8,929	9,692	13,737	10,728	11,529	35,875	34,195
	前期損益修正損	1,509	0	320	691	281	211	2,110	902
主	投資有価証券評価損	6,066	3,193	6,220	2,673	1,203	413	13,489	6,279
な	販売用不動産等評価損	0	0	0	0	0	1,124	0	1,124
内訳	貸倒損失引当金	0	0	430	4,033	695	4,399	1,125	8,432
派	割増退職金	0	0	710	599	234	42	944	641
	減損損失	4,364	2,213	171	1,529	827	2,947	5,362	6,689

- □ 特別損失は、投資有価証券評価損が前年度以上に多く計上されている。
- □ 今期はデベロッパー等の倒産が少なく、貸倒損失は少ない。

⑧当期純利益(連結)

単位:百万円

当期純利益/当期純利益率

	大	手	準プ	大手	中	堅	総	計
	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率	当期純利益	当期純利益率
06年度2Q累計	56,397	1.6%	8,272	0.4%	▲ 25,779	-2.6%	38,890	0.6%
07年度2Q累計	60,039	1.7%	▲ 23,196	-1.1%	▲ 21,984	-2.2%	14,859	0.2%
08年度2Q累計	4,662	0.1%	▲ 22,648	-1.2%	▲ 25,863	-2.8%	▲ 43,849	-0.7%
09年度2Q累計	28,107	0.8%	4,553	0.3%	▲ 4,224	-0.4%	28,436	0.5%
10年度2Q累計	38,187	1.3%	20,083	1.3%	722	0.1%	58,992	1.1%

	大手	準大手	中堅	総計
06年度2Q累計	60.3%	-97.1%	ı	-87.2%
07年度2Q累計	6.5%	-380.4%	-	-61.8%
08年度2Q累計	-92.2%	_	-	-395.1%
09年度2Q累計	502.9%	黒字転換	-	黒字転換
10年度2Q累計	35.9%	341.1%	黒字転換	107.5%

- □ 売上総利益の改善、販管費の削減等により全階層で黒字となった。ただし、全 40社中9社が当期純損失である(前年度同期は全40社中17社が当期純損失)。
- 通期業績予想をすでに達成している企業も見受けられた。

⑨有利子負債(連結)

単位:百万円

有利子負債額

	大手	準大手	中堅	総計
07年度末	1,747,917	742,720	415,283	2,905,920
08年度2Q末	1,879,202	872,815	446,593	3,198,610
08年度末	2,011,467	859,953	458,781	3,330,201
09年度2Q末	2,175,159	929,867	460,993	3,566,019
09年度末	2,114,185	794,543	374,562	3,283,290
10年度2Q末	1,928,702	753,379	360,546	3,042,627

- □ 有利子負債額は、対前年同期比総計で約5,234億円減少した(「大手」は約2,465億円減少、「準大手」は約1,765億円減少、「中堅」は約1,004億円減少。
- □ 対前年度末比でも、全階層で減少し、総計で約2,407億円減少した。
- □ 「準大手」・「中堅」は、有利子負債の圧縮が進展。「大手」では、2009年度末は 対前年同期比で若干増加したが、2010年度第2四半期末までのトレンドを見 れば、減少傾向がうかがえる。運転資金需要が減少したことに加えて、保有不 動産売却や投資有価証券売却による有利子負債削減を加速させたことが影響 している。

⑩自己資本比率・デットエクイティレシオ(連結)

自己資本比率

	大 手	準 大 手	中堅	総計
06年度2Q末	20.9%	24.5%	24.3%	22.5%
07年度2Q末	22.5%	24.8%	24.0%	23.3%
08年度2Q末	20.3%	23.3%	22.2%	21.4%
09年度2Q末	19.4%	24.5%	24.8%	21.6%
10年度2Q末	21.4%	28.0%	29.0%	24.3%

D/Eレシオ

	大 手	準 大 手	中堅	総計
06年度2Q末	0.87	0.70	0.81	0.81
07年度2Q末	0.82	0.72	0.81	0.79
08年度2Q末	1.07	0.89	0.92	1.00
09年度2Q末	1.39	1.01	0.99	1.21
10年度2Q末	1.30	0.83	0.77	1.06

[※]有利子負債/自己資本で算出

- □ 自己資本比率は、財務体質の改善努力もあり、全階層で上昇している。
- □ 有利子負債減少と自己資本増加に伴い、D/Eレシオは総計で0.15ポイント低下している。

⑪キャッシュフロー(連結)

単位:百万円

営業キャッシュフロー

	大 手	準 大 手	中堅	総計
06年度2Q末	▲ 71,160	▲ 31,919	▲ 27,017	▲ 130,096
07年度2Q末	▲ 175,420	▲ 39,412	▲ 12,125	▲ 226,957
08年度2Q末	▲ 167,168	▲ 170,401	▲ 10,849	▲ 348,418
09年度2Q末	▲ 101,413	▲ 116,169	39,669	▲ 177,913
10年度2Q末	204,336	33,542	62,948	300,826

投資キャッシュフロー

	大 手	準 大 手	中堅	総計
06年度2Q末	38,589	▲ 21,726	638	17,501
07年度2Q末	▲ 64,855	▲ 6,601	960	▲ 70,496
08年度2Q末	▲ 43,442	▲ 9,563	▲ 10,713	▲ 63,718
09年度2Q末	▲ 35,076	10,750	▲ 10,807	▲ 35,133
10年度2Q末	▲ 69,278	▲ 6,014	674	▲ 74,618

財務キャッシュフロー

	大 手	準 大 手	中堅	総計
06年度2Q末	▲ 9,118	▲ 74,784	▲ 26,771	▲ 110,673
07年度2Q末	97,608	▲ 19,766	▲ 27,968	49,874
08年度2Q末	104,972	110,396	2,443	217,811
09年度2Q末	▲ 25,056	58,565	▲ 29,557	3,952
10年度2Q末	▲ 196,512	▲ 12,792	▲ 57,134	▲ 266,438

- □ 営業キャッシュフローは、全階層でプラスとなっている。
- □ 投資キャッシュフローは、特に「大手」でマイナス額が大きくなっており、投資スタンスの変化がうかがえる。